



「食と教育」 学術研究の公募

2014
12/31 Wed

申請締切日

特定研究募集テーマ

- 1 「食に関わる教育活動」における「乳」活用の意義に関する理論的研究
- 2 「食に関わる教育活動」における教育効果の評価法の開発
- 3 集団給食（保育所・小中学校等）の現代的意義と価値に関する研究
- 4 国内外の「乳」を取り込んだ食に関わる教育活動の比較研究
- 5 ライフステージ（特に、乳幼児、青年期、高齢期など）に対応した「乳」を取り込んだ食に関わる教育のプログラムの開発と評価

一般研究募集テーマ

- 6 「乳」に関する教育的視点からの研究

上記への申請のうち8件程度を採用して研究者等を決定します。

※ここで言う「乳」とは、「食品としての牛乳・乳製品やそれを生産流通する産業としての酪農や乳業など」を指します。

応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とします。

委託金額

年間一件当たり原則として100万円以内とします。

研究期間

原則として1年を超えないものとします。

選考方法

審査委員会が、各分野の専門家の意見を参考とし、審査決定します。

審査委員会

委員長	角屋 重樹	(日本体育大学児童スポーツ教育学部 教授)
副委員長	田中 博之	(早稲田大学教職大学院 教授)
委員	石井 雅幸	(大妻女子大学家政学部児童学科 准教授)
	児玉 浩子	(帝京平成大学健康メデイカル学部健康栄養学 教授・学科長)
	長島 美保子	(公益社団法人全国学校栄養士協議会 会長)
	鈴木 由美子	(広島大学大学院教育学研究科 教授)
	木村 純子	(法政大学経営学部 教授)

「牛乳食育研究会」は、一般社団法人 J ミルクと共同して、豊かな食体験及び総合的な食知識の習得や食に対する健全な態度の育成及び適切な食選択能力の向上などの教育的な取り組みを推進するため、乳を活用した「食と教育」に関する学術研究を公募します。

詳しくは Web から学術研究実施要領をダウンロードしてください <http://www.j-milk.jp/>

一般社団法人 J ミルク内 「牛乳食育研究会」事務局

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番1号 築地三井ビル5階 電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354

URL : <http://www.j-milk.jp/> 担当 : 林 雅典 E-mail : m-hayashi@j-milk.jp、関 芳和 E-mail : y-seki@j-milk.jp

平成 27 年度「食と教育」学術研究実施要領

牛 乳 食 育 研 究 会
一 般 社 団 法 人 J ミ ル ク
制 定 : 平 成 26 年 9 月 20 日

1. 趣旨

「牛乳食育研究会」は、一般社団法人 J ミルク（以下「J ミルク」という）と共同して、豊かな食体験及び総合的な食知識の習得や食に対する健全な態度の育成及び適切な食選択能力の向上などの教育的な取り組みを推進するため、乳を活用した「食と教育」に係る学術研究を研究者ないし研究グループ(以下「研究者等」という。)に広く公募し、選考のうえ委託して行うものとする。学術研究についてはこの要領で定めるところにより実施するものとする。

2. 研究のテーマ

委託する学術研究のテーマは次の通りとする。

なお、以下で言う「乳」とは、「食品としての牛乳・乳製品やそれを生産流通する産業としての酪農や乳業など」である。

(1) 特定研究

No	テーマ
1	「食に関わる教育活動」における「乳」活用の意義に関する理論的研究
2	「食に関わる教育活動」における教育効果の評価法の開発
3	集団給食(保育所・小中学校等)の現代的意義と価値に関する研究
4	国内外の「乳」を取り込んだ食に関わる教育活動の比較研究
5	ライフステージ(特に、乳幼児、青年期、高齢期など)に対応した「乳」を取り込んだ食に関わる教育のプログラムの開発と評価

(2) 一般研究

No	テーマ
6	「乳」に関する教育的視点からの研究

3. 研究の委託

上記(1)(2)をテーマとする研究計画の応募申請の中から 8 件程度を採用し委託する。

4. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等(大学院生含む)、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とする。

5. 委託の要件

(1) 国内外に未発表の研究であること。

- (2) 外部への研究発表に際しては、事前に牛乳食育研究会に連絡するとともに、牛乳食育研究会及びJミルクの学術研究支援を受けたことを明らかにすること。
- (3) 研究については、食と教育学術研究審査委員会（以下、「審査委員会」という）に報告書を提出し、評価を受けること。
- (4) 研究成果の全部もしくは一部を刊行し、または発表する場合は、その刊行物または別刷の1部を添付して牛乳食育研究会及びJミルクに事前に報告すること。

6. 委託期間

同一調査・研究課題に対する委託期間は、原則として1年を超えないものとする。ただし、研究の成果により、さらに研究の継続が必要な場合には、審査委員会の審査を経て、研究の継続を認めることができる。

なお、具体的な委託研究期間は、委託研究契約書に明記することとする。

7. 委託研究費

年間一件当たり原則として100万円(消費税込)以内とする。

- ※ 個人で実施する場合は、所得税法等の規定により源泉所得税の課税対象となります。
- ※ 本学術研究は全国の研究機関を対象とした公募型のプロジェクトであり、研究助成として業務を委託するものです。当該研究費にかかる間接経費は計上されておられません。当該委託研究費は全額を調査・研究費に充てる為、研究機関に支払う間接費等に関しては、所属機関内にて免除手続き等を行なうこととします。

8. 委託契約の締結

牛乳食育研究会及びJミルク並びに研究者等は、別に定める委託研究契約書により、契約を締結する。

9. 委託研究費の支出基準

委託研究費の支出基準は、次のとおりとする。

- ① 資料費：研究用図書等の資料購入費
- ② 賃借料：カメラ、計算機等の賃借料
- ③ 賃 金：研究補助員、調査補助員等に対する賃金
- ④ 会議費：調査、打ち合わせ等に係る会議費
- ⑤ 謝金等：調査、打ち合わせ等に係る謝金及び礼金等
- ⑥ 旅 費：調査、打ち合わせ等に係る旅費とし、実費により支出するもの。
なお、国内外を問わず、単なる学会出席のための旅費、参加費は対象外とする。
- ⑦ 通信運搬費：郵便料、振込手数料等
- ⑧ 印刷費：報告書作成等に係る印刷、製本費
- ⑨ 投稿料：研究成果の学会誌発表のための投稿料（受理された場合に限る。）
- ⑩ 上記以外の経費項目
具体的な内容の項目を記載し、それぞれの経費の金額を記載すること。

10. 申請手続き

平成 27 年度「食と教育」学術研究申請書(別紙様式 1)の定めるところによる。
本実施要領末尾に記載の牛乳食育研究会事務局まで、郵送等により送付すること。
なお、申請書の電子データを希望する場合の問い合わせ先も事務局とする。

11. 申請締切日

平成 26 年 12 月 31 日(火)必着とする。

12. 選考方法

審査委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

審査委員

委員長 角屋重樹(日本体育大学児童スポーツ教育学部 教授)

副委員長 田中博之(早稲田大学教職大学院 教授)

委員 石井雅幸(大妻女子大学家政学部児童学科 准教授)

委員 児玉浩子(帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学 教授・学科長)

委員 長島美保子(公益社団法人全国学校栄養士協議会 会長)

委員 鈴木由美子(広島大学大学院教育学研究科 教授)

委員 木村純子(法政大学経営学部 教授)

13. 決定通知

採否の結果は、平成 27 年 2 月上旬に通知する。

なお、J ミルクホームページ等において委託研究決定者を公表することとする。

14. 委託研究費の交付

委託研究費の支払は委託研究が完了し、その額が確定した後に行うものとする。ただし、研究者等からの請求に基づき委託研究費の概算払いをすることができる。なお、個人契約の場合、源泉徴収額を差し引いた額を振り込むこととする。

15. 報告書等の提出

研究者等は、研究の目標・方法(手法)及び研究によって得られた新しい知見や試行方法などを明記した研究報告書(A4 サイズ、文字方向横書き、3 万字程度、本編と資料は別とする)及び事業収支報告書を、委託研究期間の終了後 45 日以内(提出締め切り日は平成 28 年 5 月 15 日)までに提出する。なお、調査・研究報告書の構成、引用文献リスト及び表・図の記載法について改めて連絡する。

牛乳食育研究会及び J ミルクは次年度以降の当該研究者研究の新規採択、研究継続の可否または委託研究費の算定にあたって選考委員会の審議結果を参考にする。

なお、調査・研究を中止する場合、委託研究費の用途が不相当とみられる場合、または既に交付した委託研究費に残額が生じた場合は委託研究費の一部または全部の返還を請求することがある。

16. 研究成果の公表

牛乳食育研究会及び J ミルクは、提出のあった調査・研究成果を取りまとめ、報告書を作成し公表する。また、平成 28 年 8 月 26 日に東京都内で開催する「牛乳食育フォーラム(食と教育学術研究報告会)」において、研究・調査結果等の発表を行わなければならない。

17. 経理の区分整理

当該委託研究に係る経理については、他と区別し、その内容を明らかにした帳簿を備え収入・支出の額を記載する。また、これらに関する証拠書類を整備保管する。その期間は完了した年度の翌年度から起算して 5 年間とする。

18. 個人情報の取り扱い

委託研究申請書類に含まれる個人情報は、学術研究委託事業の業務の目的以外には一切使用しないこととする。

19. 「食と教育」学術研究に関する問合せ先・提出先

牛乳食育研究会事務局

〒104-0045 東京都中央区築地 4-7-1 築地三井ビル 5 階

一般社団法人 J ミルク内「牛乳食育研究会」事務局 担当：林 雅典・関 芳和

電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354 E-mail : m-hayashi@j-milk.jp

(別紙様式 1)

平成 27 年度「食と教育」学術研究申請書

提出日 平成 26 年 月 日

1. 研究者

フリガナ 氏 名		生年 月日	
研究機関名		役職	
研究機関 住所等	〒 TEL FAX		
E-mail			
現住所	〒 TEL FAX		
研究者の略歴			

2. 研究課題

研究課題名			
研究区分	特定研究 ・ 一般研究 (テーマに該当する項目に○を付してください)	研究テー マ No	特定研究のみ記載(1~5)
研究形態	個人 ・ 共同 (該当項目に○を付してください)	共同研究の場合の研究メンバー(研究機関名・役職・氏名を明記)	

3. 研究目的・計画・方法（1,500字以内）

どのような背景(本研究を応募するに当たり、着想に至った経緯等)、問題意識で、研究機関(1年)で何をどこまで明らかにしようとしているのか、本研究の特色及び予想される結果と意義がわかるように研究目的を具体的に記述するとともに以下の点に留意し、その目的を達成するための研究計画・方法を簡明に記述すること。

- ① 国内外における先行研究の状況（自己の研究も含む）及び関連文献。
- ② その他特記すべき事項（過年度に同様のテーマで応募している場合は、これまでの成果と今回の調査・研究内容について比較、整理して記入する）。
- ③ 外部への研究発表予定（有りの場合は、学会、専門誌等の名称を記入する）。

4. 調査・研究期間

平成 27 年 4 月 ～ 平成 年 月

5. 支出計画

総額 千円

支出基準	経費項目	積算基礎	金額(千円)
		合 計	千円

6. 調査・研究責任者の調査・研究業績目録

本項目にてこれまでの研究の信頼性・妥当性を持つ研究を行えているかを判断する。
(過去3カ年間の調査・研究業績を記入)